

活動報告

団体名	神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti
活動名	台風 19 号の被災地宮城県伊具郡丸森町における支援活動
活動期間	2020/01/24~2020/02/27
活動の成果	<p>1 月は山の方で在宅避難されている方のお宅に伺い、敷地内に入り込んだ土砂のかき出し作業を行った。被災から 3 か月が経過してもなお解消されていなかったマンパワーニーズに対応することで、住民の方の生活の早期復旧に貢献することができた。町の中心エリアや平野では被災直後から多くのボランティアが駆け付けていたため、比較的早く復旧が進み、元の生活に戻りつつある様子であったが、山間部では道路が崩れたままの場所や手が付けられていない被災家屋も多く散見された。ボランティアの受け入れが縮小しつつある時期において、人の手では進まない作業に取り組むことができたことは、住民の方にとって物理的な復旧の進歩となっただけでなく、精神的な不安の軽減にもつながったといえる。また、作業の合間には積極的に住民の方とお話するようにしていたため、普段は人と会う機会が少なく不安や悩みを解消できない中でも、傾聴を通して気持ちや今後についての考えを整理する一助となることができたと考える。また 2 月は社会福祉協議会の生活支援相談員の方々と学生がペアを組み、在宅避難の方を戸別訪問して回る活動を実施した。仮設住宅に支援が偏りがちになっている状況において、支援や情報が届きにくい在宅避難の方に直接支援物資を届けられたことは成果であった。この活動においても、単に物資を届けるだけでなく、一軒一軒お話する時間をとることで、困りごとや不安、悩み等を聞き取り、社会福祉協議会につなげることができた。傾聴という点においては、活動に参加したメンバーのほとんどが、東日本大震災の被災地において支援活動に取り組んできた経験を持つ者であったため、その経験を活かして住民の方に寄り添って話すことができた。また被災地での活動経験のある学生ならではの観察力と着眼点が、支援員の方々の調査への貢献にもつながった。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>継続して関わることができているのは、ひとえに支援をいただいているおかげであり、大変感謝しております。皆さまのお力添えに支えられて、活動に取り組むことができました。恐縮ではありますが今後とも温かい目で見守りいただけますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。</p>

(活動のようす)

